

この先ずっと紙と一緒に
紙 | 山中商事株式会社



日本品質の紙技術ハニカムペーパー

○本社所在地：
愛媛県四国中央市寒川町

○事業概要：
洋紙、和紙、特殊紙の販売・紙製品
製造加工販売・食品：酒粕漬（うり・
生姜）製造販売

○常時使用する従業員：48名
(2025年9月期)

○現在の売上高：22億円
(2025年9月期)

○法人番号：4500001014507

○Web：<https://yamanaka-com.jp/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
山中 泰典

紙の可能性を広げ、100億企業へ

当社は創業以来、紙という再生可能な資源を活かし、品質と信頼を大切にした製品づくりに取り組んでまいりました。現場の改善力とお取引先様との強いパートナーシップが当社の成長を支える基盤です。近年、脱プラスチックや環境配慮への社会的要請が高まる中、紙製品の役割と可能性はますます拡大しています。当社はこの変化を成長の機会と捉え製品開発力の強化、生産性向上への投資、人材育成を進めます。これらの取り組みにより、売上高100億円企業への成長を目標に、社会と地域に貢献し続ける企業を目指します

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

当社は2036年に売上高100億円規模への成長を実現するため、以下の重点施策を段階的に推進する

- 1.高付加価値・環境配慮型製品の拡充
- 2.設備投資による生産性向上と品質安定化
- 3.市場・販路の拡大
- 4.人材育成と組織力の強化
- 5.業務プロセスの高度化・DX推進

課題

- 原燃料価格・エネルギーコストの変動リスク
- 設備投資に伴う資金負担と回収リスク
- 人材確保と技能継承の難しさ
- 高付加価値製品の開発難易度
- 販路拡大に伴う営業体制の不足
- DX推進に対する現場定着の壁

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- 1.紙製品や機能性素材の開発強化
- 2.生産能力の拡大と安定供給体制の構築
- 3.売上基盤の多角化
- 4.技能継承と多能工化および若手人材の育成
- 5.経営判断の迅速化と業務効率の向上

実施体制

- 1.経営直轄の成長推進委員会の設置
- 2.製品開発・技術推進体制
- 3.生産・設備投資推進体制
- 4.営業・市場開拓体制
- 5.人材育成・組織基盤強化体制
6. DX・業務高度化推進体制

売上高100億円実現への具体的手段と実施体制

目指す成長手段

1. 脱プラスチック需要に対応した紙製品や機能性素材の開発を強化し、付加価値の高い製品構成へ転換を図る
2. 自動化・省人化設備の導入を計画的に進め、生産能力の拡大と安定供給体制の構築を実現する
3. 既存顧客との取引拡大に加え、新用途・新業界への参入を進め、売上基盤の多角化を図る
4. 技能継承と多能工化を推進するとともに、若手人材の育成により持続的成長を支える組織体制を構築する
5. 生産管理・品質管理・営業支援のデジタル化により、経営判断の迅速化と業務効率の向上を図る



実施体制

1. 経営直轄の成長推進委員会の設置
代表取締役を委員長とする「100億円達成推進委員会」を設置
2. 製品開発・技術推進体制
技術部門を中心に、営業・生産部門と連携した製品開発プロジェクトチームを編成
3. 生産・設備投資推進体制
製造部門主導の設備投資・生産性向上チームを設置
4. 営業・市場開拓体制
マーケティング情報を全社で共有し、開発・生産へフィードバック
5. 人材育成・組織基盤強化体制
多能工化教育、技能の見える化。計画的採用を実施。評価制度と連動させ、挑戦と改善を促す組織文化を醸成
6. DX・業務高度化推進体制
生産管理・在庫管理・品質管理・営業支援システムを段階的に導入